



Wood Deck

特定非営利活動法人
ウッドデッキ

アニュアルレポート 2024

2025年5月

目次

1. ビジョン -----	p.2
2. 2024メンバー -----	p.3
3. 事業・管理運営報告	
総会の実施・報告 -----	p.7
ホームページでの発信 -----	p.8
パンフレットの作成と横浜市役所への設置 --	p.9
シンポジウム2024の企画・実施・報告 -----	p.10
対話会「未来を描くきっかけを作ろう」-----	p.14
若手科学者のためのオーラル・ヒストリー デジタルアーカイブ -----	p.15
ウッドデッキ賞授賞 -----	p.17
企業の協賛・エコシステム構築-----	p.18
規程類の策定 -----	p.19
神奈川県から補助金 -----	p.20
4. 会議報告 -----	p.21
5. 収支報告 -----	p.24



1. ビジョン

今、日本社会が直面している課題は山のようにあり、
それらは時代の転換点特有のものばかりです。

これからは、地球環境を守り、今あるものを大切に、
人々が幸せに生きていくための新しい方法が求められます。

そこには、新しい学際的で総合的な科学の力、
社会の課題を当事者として受け止める科学者の力が必要です。
変化を起こすのは、未来に責任を持つ若い科学者です。

若い科学者が様々な世代の科学者や市民と語り合い、
新たな未来への道筋をつくるために、
私たちWood Deck (ウッドデッキ)は多くの人々が安心して自由に、
そして科学的に議論する場を提供します。

2. 2024メンバー

代表理事
渡辺美代子



理事
濱口道成



理事
山極壽一



理事
CASSIM Monte



理事
WIECZOREK Iris



監事
秋山咲恵



事務局ディレクター
辻明子



企画広報マネージャー
石塚真由美



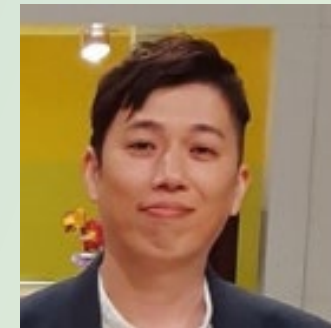
企画広報マネージャー
相京祐飛



企画広報マネージャー
鹿野豊



動画制作ディレクター
シンポジウムディレクター
高瀬堅吉



シンポジウムマネージャー
井関祥子



シンポジウムマネージャー
ワークショップマネージャー
森田純恵



ワークショップディレクター
安田仁奈



プロジェクトマネージャー
小浦節子



プロジェクトマネージャー
近藤誠一



プロジェクトマネージャー
寺本華奈江



プロジェクトマネージャー
塩田佳代子



プロジェクトマネージャー
小野悠

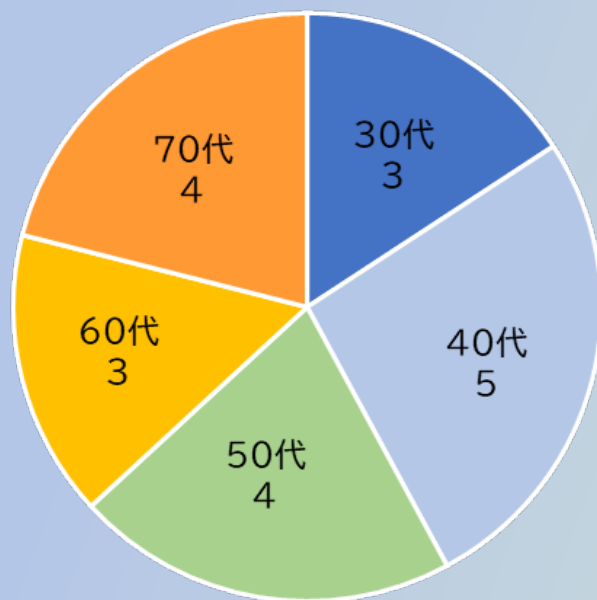


賛助会員
住友重機械工業（株）



メンバーの多様性

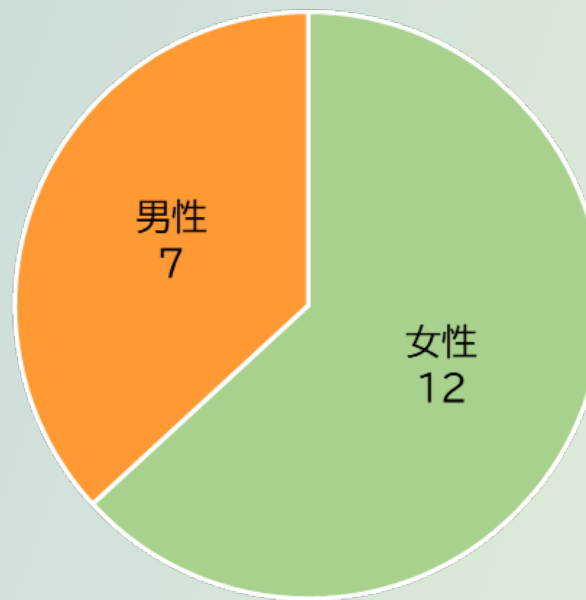
想定年代



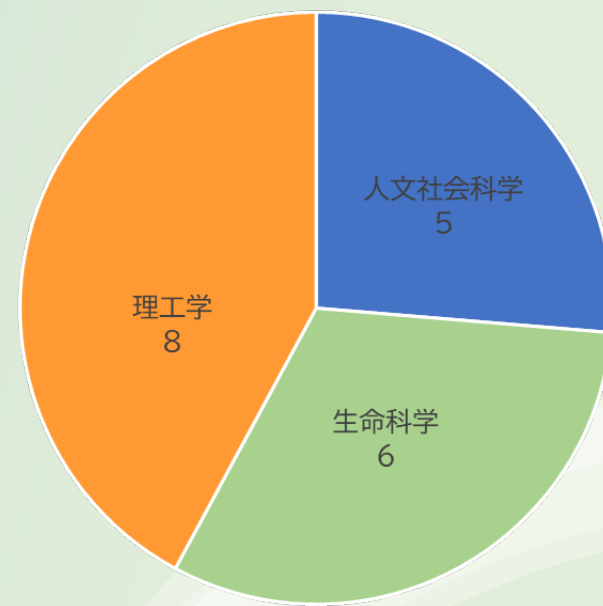
居住地



性別



専門分野



3. 事業報告

総会の実施・報告

2024年5月23日（木） 15:00-17:00に日本大学会館202会議室で総会を実施

18名の参加（実参加9名、オンライン参加4名、委任状5名）で議論

第1号議案 メンバー自己紹介、議長の選任

第2号議案 理事・監事の選出

第3号議案 2023 年度活動報告

第4号議案 2024年度活動計画

第5号議案 意見交換

上記を審議し、承認

その結果をホームページで公開



ホームページでの発信

企画広報マネージャーが随時ウッドデッキの最新情報をHPで公開

ウッドデッキ賞授賞式の報告

シンポジウム2024の企画紹介・参加者募集、会員コメント紹介、事後報告

対話会「未来を描くきっかけを作ろう」の企画紹介・参加者募集、事後報告

若手研究者のためのオーラルヒストリーデジタルアーカイブ公開

総会・理事会等の会議資料公開

新規規程の公開

スポンサーの公開

閲覧者数 1,105

(2022年度624, 2023年度1,185)

アクセス数(ページビュー) 5,332

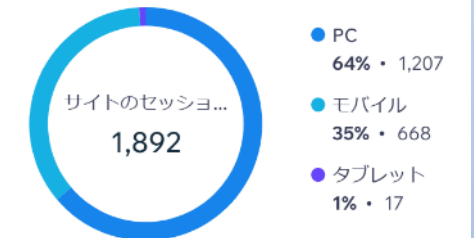
(2022年度3,359, 2023年度5,764)

新規訪問者
PC閲覧が多数

新規訪問者 vs 常連訪問者



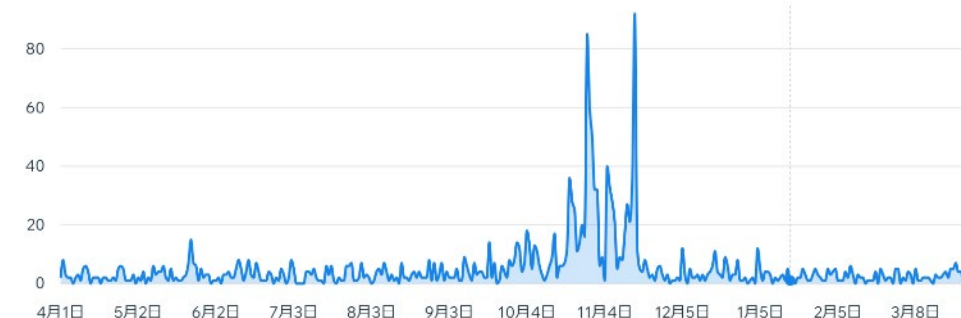
デバイス別セッション



シンポジウム前に集中

一定期間でのセッション

2024年4月1日 - 2025年3月31日



パンフレットの作成と横浜市役所への設置

多くの市民に周知するために、パンフレットを作成
横浜市役所内市民協働推進センターに設置

ビジョン

今、日本社会が直面している課題(社会)の解決に向け、市民が主体的に活動する機会を創出することです。これにより、社会課題を解決し、社会をより良く変えていくことが期待されます。そのためには、新しい仕組みや技術の活用、社会の課題を共同で解決していくことが必要です。期待されるのは、市民が主体的に活動する機会を創出することです。

私たちについて

多様なキャリア、年齢、性別、専門分野など幅広い市民のネットワークの構築が、社会課題の解決に大きく貢献します。社会課題の解決に大きく貢献します。社会課題の解決に大きく貢献します。

Wood Deck
特定非営利活動法人
ウッドデッキ

代表理事 高橋 孝子
代表理事 高橋 孝子
代表理事 高橋 孝子
代表理事 高橋 孝子
代表理事 高橋 孝子
代表理事 高橋 孝子

JEOL
住友重機械
SHIMADZU
Excellence in Science

特定非営利活動法人 ウッドデッキ
〒247-0008 横浜市中区本郷台2-25-11
email: secretariat.wd@gmail.com
NPO ウッドデッキ
https://www.wooddeck.org

メンバーの多様性

1 想定年代

20代 4
30代 3
40代 4
50代 4
60代 3

2 居住地

1 区部 1
2 区部 2
3 区部 1
4 区部 1
5 区部 1

3 性別

男性 7
女性 11

4 専門分野

理工学 7
人文系 4
生物系 4

シンポジウム
毎年市民と科学者を対象にシンポジウムを開催

2022年
「100年を越える未来の社会」
未来の社会をどう変えていくのか
未来の社会をどう変えていくのか

2023年
「未来の社会をどう変えていくのか」
未来の社会をどう変えていくのか
未来の社会をどう変えていくのか

2024年
「未来の社会をどう変えていくのか」
未来の社会をどう変えていくのか
未来の社会をどう変えていくのか

学生とシニア科学者の対話会
小グループで学生の疑問を中心に考える

オーラルヒストリーデジタルアーカイブ
〜次世代に伝えるメッセージ〜
横浜を創った科学者の足跡を、科学的な視点から、
本人の語り、写真、映像、音声などで残すこと



シンポジウム2024の企画・実施・報告




シンポジウム 若者の「今」と「これから」を考える

企画趣旨：
現在、若者の生きづらさが深刻な社会問題となっています。横浜市立大学ではCOI-NEXTにおいて「Minds1020Lab」拠点
を設立し、若者の心の課題を包括的に研究する新たな学術領域を立ち上げ、展開しています。そして、NPO法人ウッド
デッキは、若者がどのように未来を切り拓いていくかをサポートする取り組みを行っています。このたび、「若者の
『今』と『これから』を考える」をテーマにシンポジウムを開催します。社会格差などが若者の生きづらさを生み出し
ているという考え方について議論を深めていきます。

日 時：2024年11月16日（土）13：00～16：20

会 場：横浜市立大学 金沢八景キャンパス YCUスクエア
※オンライン配信も合わせて行います。

対 象：高校生、大学生、大学院生、社会人

プログラム：総司会 井関 祥子（東京科学大学教授）
13:00-13:05 開会挨拶 渡辺美代子（NPO法人ウッドデッキ代表理事）
13:05-13:20 趣旨説明 高瀬 聖吉（横浜市立大学客員教授・中央大学教授）
13:20-14:10 基調講演 山極 壽一（総合地球環境学研究所所長）
「愚痴の学びとは何か」
14:10-14:40 講演 奥村 春香
（NPO法人第3の家族代表）
「第3の家族の活動から見える若者の今」
15:00-16:15 パネル討論「今の若者の生きづらさを考える」
パネリスト 相原 祐飛（lonQ, Inc.）
寺本 華奈江（株式会社島津製作所副ビジネスユニット長）
宮崎 智之（Minds1020Labプロジェクトリーダー、横浜市立大学教授）
モンテ カセム（国際教養大学理事長兼学長）
綿岡 千夏（横浜市立大学医学部看護学学生）
ファシリテーター 藤本 敦也（横浜市立大学特任教授）
16:15-16:20 閉会挨拶 橋 勝（横浜市立大学副学長）

主 催：NPO法人ウッドデッキ／横浜市立大学COI-NEXT（Minds1020Lab）
後 援：文部科学省



<https://x.gd/8rsWl>
申し込みサイト

第3回のシンポジウムを2024/11/16午後、COI-NEXT Minds1020Labと共催、
公立大学法人横浜市立大学金沢八景キャンパスで開催することを決定し実施

シンポジウムディレクター・マネージャーのオンライン会議にて

今後の検討内容を確認（2024/8/1）

テーマ、講師、参加者募集について議論（2024/8/8）

「若者の「今」と「これから」を考える」をテーマとしシンポジウム開催を決定（2024/8/17）

共催側と予算分担打合せ、プログラム確定（2024/8/31）

企画・進行について打ち合せを実施（2024/9/15）

会場・設営・進行について確認（2024/10/23）

メールにて随時打合せ

前日に関係者で最終確認（2024/11/15）





第3回シンポジウムを横浜市立大学COI-Nextとの共催で ハイブリッド形式にて開催 (2024/11/16)

参加は現地で72名、オンラインで43名、合計115名

会場は横浜市立大学 金沢八景キャンパス YCU スクエア

若者の生きづらさの社会課題の解決に向けて、本法人理事の山極壽一・
総合地球環境学研究所所長による基調講演、横浜市を拠点に過干渉な
ど子どもの問題の解決を進める NPO 法人「第3の家族」の奥村春香代表
による講演、そしてパネルディスカッションの 3 部構成で実施

本シンポジウムは若い研究者・学生にも聴いてほしいという思いで企画
20歳代以下の参加率は全体の34% と高い割合、高校生が参加し
積極的な発言

若者の生きづらさの原因は本人のみにあるのではなく、学校や家庭で話を
する場づくりが大切、多様な居場所の必要性を議論



ホームページでの報告



神奈川新聞に紹介記事

●掲載記事 神奈川新聞（電子版・有料）

<https://www.kanaloco.jp/news/social/article-1126369.html>

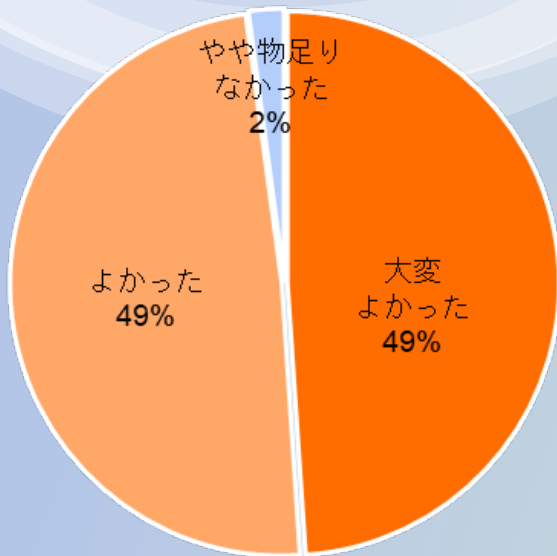
ゴリラ博士が「大学をジャングルに」横浜市大で若者の応援策探るシンポ | カナロコ by 神奈川新聞

「若者の生きづらさ」と解決をテーマに若い世代への応援策を探るシンポジウムが16日、横浜
市立大金沢八景キャンパス（同市金沢区）で開かれ、オンラインを含め約120人が参加した。
雷長類研究で「ゴリラ博士」として知られる山極壽一・総合地球環境学研究所長（元日本学術会
議会長）が「生きづらさは主体的に未知に接し、学ぶ場が乏しいから。とりわけ大学はジャング
ルでなければならない」と説明。このほか、…

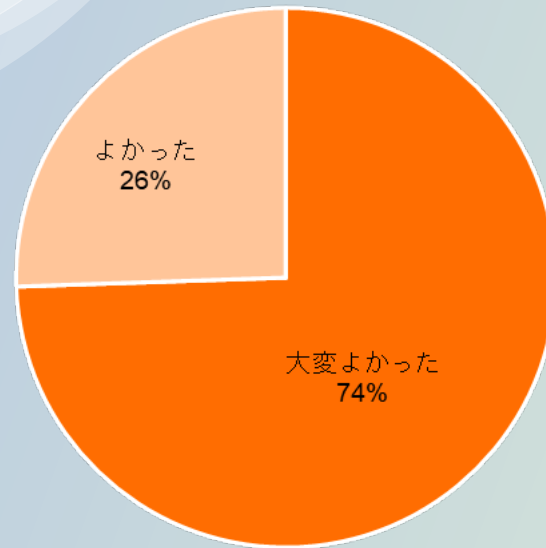


シンポジウム参加者アンケート結果

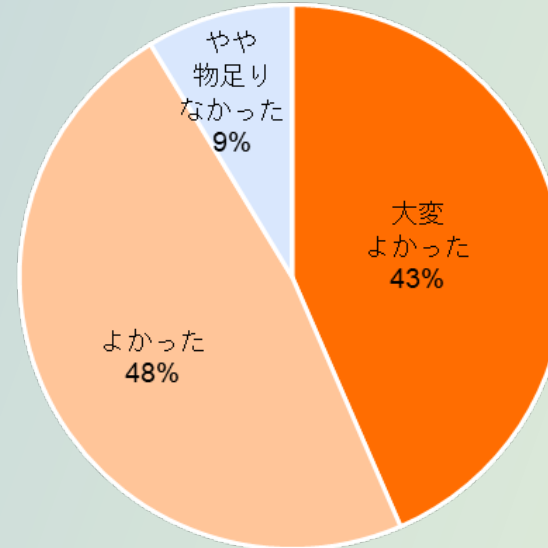
全体



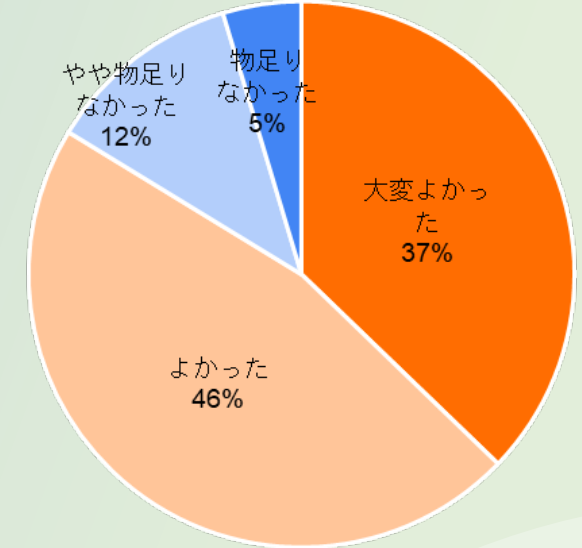
基調講演



講演



パネル討論



自由記述例

- ・思わず目を背けたいくなる社会課題を知るいい機会になりました。
- ・若者の悩みの原因が可視化されているようで、コミュニケーションがうまくいかない理由がわかった気がした。
- ・パネリストに、もう少し若手を増やしても良いのかなと感じました。私達を知るべきは今を生きる若者の声です。
- ・子供が3人いる親としては、講演・パネルディスカッションがとても良かった。
- ・オンライン参加者の質問も受け付けていただけると良いと思います。

対話会「未来を描くきっかけを作ろう」

シンポジウム当日の午前中に現地参加の学生を対象に、シンポジウムに先立って**対話会を開催**



NPO法人ウッドデッキ × 横浜市立大学
対話型企画第2回「未来を描くきっかけをつくろう！」

「大学に入ってみたけど、やりたいことが見つからずに将来の自分が描けない」、高校から大学院までの学生時代はさまざまな思いや悩みを抱え続けたが、この春からはそうした気持ちを確かに伝える機会があまりありません。NPO法人ワークデックでは、昨年、国公立東京大学で対話型学食を開催し、一掃し続けてきた先輩（メンター）たちと自由に対話し、若者が自分の将来を描くきっかけを見つけたワークショップを開催しました。参加した若者たちから「ワークショップを通じて、これからの自分の道しるべを得られた」という感想も多く頂くことから、今年は横浜国立大学にて第2回を開催することとなりました。〇意味のある方をぜひご参加ください！」

お話しする先輩（メンター）たち



佐藤 友美 (横浜市立大学・教授)

生命の不思議さに触れて研究者の道へ、論理的な考え方の大切さ、環境ホルモン

森田 純恵（秋田県立大学・教授）

会社にはいったら目指すこと、イノベーションを生む、やってきたチャンスは逃さない、ワークライフバランス

モンテ・カセム（国際教養大学・理事長兼学長）

大家族の精神、日本とスリランカの相互理解、勉強も遊びもスポーツも、自分の内発的な声を大切に

安田 仁奈（東京大学大学・教授）

大学受験での失敗、修士で専門を変える、研究で見てきた海と世界、3歳児と暮らしながらの野外調査研究

山極 壽一（総合地球環境学研究所・所長）

ゴリラの生き方から人間を知る、勝とうとすることと負けないことの違い、共感力、自分の時間の放棄で未来を築く
 小山、麻（横浜国立大学・教授）

横山 宗（横浜市立大学・教授）
大学で学ぶ 東洋の科学 原子レベルの観察

渡辺美代子（日本大学・学務理事、特定非営利活動法人ウッドデッキ代表理事）

物理の楽しさ、女性の活躍、研究と家庭の両立、世界からみる博士号のメリット、未来のための経験

※お話ししたい先輩（メンター）がいる場合は、お名前・ご所属の下にあるYmcardを参考に申し込みサイトでお名前を書いてください。

日 時：2024年11月16日(土曜日)

10:00~11:45

会 場：横浜市立大学 金沢八景キャンパス
YCUスクエア

対 象：横浜を中心とした高校生、大学生、
大学院生

申込×切：11月9日(土曜日)



申し込みサイトURL：
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSt91h3btw8LSaMlchv5XzFgEDdyDg3zKcaY0aa34egpdYD_LQ6vicsform?usp=sharing

参加は学生20名、メンター6名、3つの部屋に分かれた対話形式で実施

世代の大きく異なるメンターと学生が対話を通じて、未来を描ききっかけをつくることを目的に実施。研究や大学生活で感じる疑問、時代の変化とともにどう生きるべきかを議論し、それぞれの経験や視点を共有する場となった。学生は、普段聞けない深い話やキャリアに関する実践的なアドバイスを得る機会となり、メンターも若い世代の率直な意見に触れることで新たな発見を得た。



若手科学者のためのオーラルヒストリーデジタルアーカイブ ～次世代に残すメッセージ～

2024年10月20日(日) 11:00-16:00

北条SANCIにて2名のインタビューを実施

誰も経験したことのない冒険を楽しむ権威ある科学者に

- 1) 生い立ち
- 2) 多彩な取り組み
- 3) 若手へのメッセージ

についてインタビューを行い、映像資料を制作

この制作を通じて、従来のアカデミアでは継承することが

困難であった先人の知の世代間伝承を推進

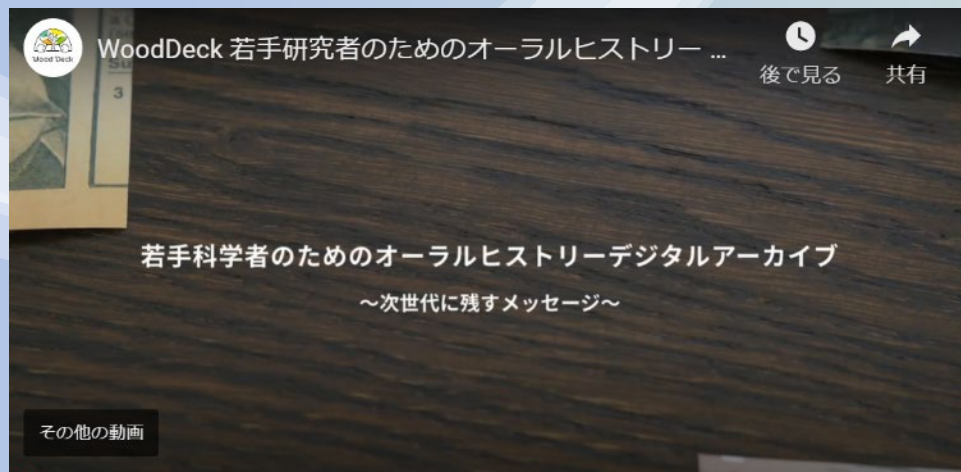
若手科学者が自分の人生にどのように向き合い、

どのように未来を切り拓いていくかの洞察を得る契機と

する狙い



2023年度撮影の動画をHPで公開



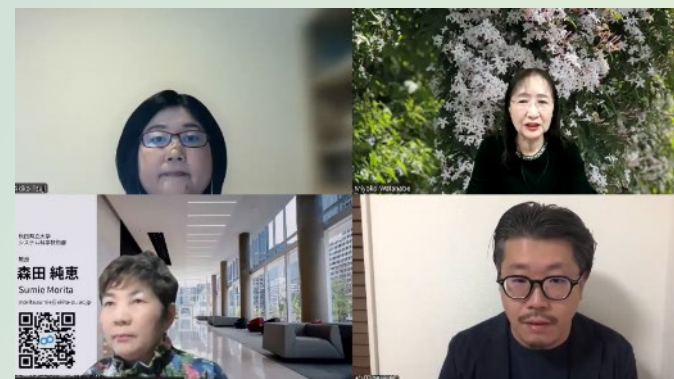
動画制作研修会を実施

日時：2025年3月5日（水）10:00-10:50

会場：Zoomミーティング

講師：映像ディレクター 松田健太郎氏

参加者：当日参加：4名、オンデマンド参加：3名



ウッドデッキ賞授賞

ウッドデッキに貢献した者にウッドデッキ賞（Wood Deck Award）を授与
2024年5月23日（木）16:30-17:00に日本大学会館202会議室で
総会の一環として表彰式を実施

2023年度ウッドデッキ賞 森田純恵

受賞理由：第2回ウッドデッキシンポジウムの企画から運営・報告書公開まで、リーダーとしての役割を責任を持って成功に導き、その後シンポジウムでの議論を秋田地域の学生に向けた活動に展開し、ウッドデッキの発展に大きく貢献



2022年度ウッドデッキ賞 辻明子

受賞理由：ウッドデッキ設立初年度に、会計をはじめとする困難な事務局業務を緻密かつ正確に責任を持って成し遂げ、ウッドデッキ設立の成功に大きく貢献



企業の協賛・エコシステム構築



「科学の力で未来をもっと豊かに」のビジョンを掲げる日本電子株式会社に設立当初から協賛いただいております

今年度は、「一流を、世界へ。」のオモイを表明するに住友重機械工業株式会社に協賛いただきました

今後協賛いただく企業を選定し、ウッドデッキの活動を広報し、協賛を募る予定です



住友重機械

神奈川県から補助金

2024/5/29 神奈川県「NPO活動基盤づくり補助金」
を申請

2024/7/19 補助金30万円 交付決定を受理

2025/3/25 実施報告書を提出

実施報告書、事業報告書、収支決算書、
発注記録、納品記録、領収書

(用紙 日本産業規格 A 4 縦長型)

NPO活動基盤づくり補助金交付決定通知書

政 総 第 51 号
令和 6 年 7 月 19 日

特定非営利活動法人 ウッドデッキ 殿

神奈川県知事 黒岩 祐治
(公 印 省 略)

令和 6 年 5 月 28 日付けで申請のありました NPO 活動基盤づくり補助金の交付については、補助金の交付等に関する規則（昭和 45 年神奈川県規則第 41 号。以下「規則」という。）第 4 条第 1 項の規定により次のとおり決定したので、規則第 6 条の規定により通知します。

1 補助額 300,000 円

2 補助条件

(1) この補助金の対象となる事業は、令和 6 年 5 月 28 日付けで申請のあった NPO 活動基盤づくり補助金事業とし、その内容及び補助事業の経費の配分は申請のとおりとします。

(2) 補助事業の内容又は補助対象経費の配分の変更をしようとする場合は、すみやかに知事の承認を受けなければなりません。ただし、次に掲げる軽微な変更については、この限りではありません。

ア 補助事業の目的及び主たる内容に影響しない内容の変更、削除又は追加をすること（補助額の変更を伴うものを除く。）。

イ 補助対象経費の総額の 40% 以内で項目間の配分の変更をすること。

ウ 補助対象経費の総額の 40% 以内の範囲で、経費の項目を変更すること。

エ 補助事業の収入に係る変更をすること。

オ 補助対象経費以外の経費を変更すること。

(3) 補助事業を中止し、又は廃止しようとする場合は、すみやかに知事の承認を受けなければなりません。

(4) 補助事業が予定の期間に完了する見込みがない場合は、すみやかに知事の承認を受けなければなりません。

(5) 次の場合、この補助金の交付の決定を取り消します。

auto-kanagawa@dshinsei.e-kanagawa.lg.jp
To 自分, secretariat.wd

日本語に翻訳

e-kanagawa 宛て申請

整理番号: 921051527803

【NPO活動基盤づくり補助金】の実績報告の提出を受け付けました。

実績報告の内容を確認させていただきます。
なお、確認事項等がある場合には、メール又はお電話にて連絡します。

【問合せ先】
神奈川県政策局政策部 NPO 協働推進課 NPO 支援グループ
電話 045-210-3703 (直通)
電子メール kyodo0223@pref.kanagawa.lg.jp
...

規程類の策定

1つの規程を策定

規程第五号 メール審議規程

1つの規程を改定

規程第三号 寄付金取扱規程

第9回理事会（2025/3/25）にて了承

上記2規程

特定非営利活動法人ウッドデッキ メール審議規程

規程第5号

（目的）

第1条 この規程は、特定非営利活動法人ウッドデッキ（以下「当法人」という。）が受領する寄付金に關し、必要な事項を定めることを目的とする。

（メール審議の対象議案）

第2条 メール審議は、止むを得ない事情により時間的余裕が少なくして審議時間を多く要しない等の理由により、代表理事が面談会議開催して議決するよりも適当であると判断する議案について実施する。

（メール審議の決定）

第3条 代表理事は、理事会等を開催するにあたり、メール審議による議決を行うことができる。

（メール審議の方法）

第4条 メール審議は、原則として、理事等関係者全員に対して同時に行うものとする。

2 代表理事は、メール審議を行うと決定をした場合、事務局を通じて旨と会議の日時、手段及び審議内容の事項を記載した内容を理事等関係者に送付する。

（メール審議の期間）

第5条 メール審議の期間は、原則として、少なくとも、メール審議を行う日から1週間以内とする。

（メール議決）

第6条 メール議決においては、理事等関係者は賛成、反対、保留のいずれかを選択し、理由やコメント等を付すことができる。

（メール議決の成立）

第7条 メール議決の回答期限までに理事等関係者の2分の1以上が賛成を表明した場合は、議決成立とする。

特定非営利活動法人ウッドデッキ 寄付金取扱規程

規程第3号

（目的）

第1条 この規程は、特定非営利活動法人ウッドデッキ（以下「当法人」という。）が受領する寄付金に關し、必要な事項を定めることを目的とする。

（定義等）

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 一般寄付金 個人または団体から使途の特定がなされないで受領する寄付金
- (2) 指定寄付金 広く一般に、当法人が使途を特定して一定期間募金活動を行うことにより受領する寄付金

（情報公開）

第6条 当法人が受領する寄付金については、事務局への備置き及び閲覧等の措置を講ずるものとする。ただし、ホームページ上の公開に代えることができる。また、寄付者がホームページ上の公開を辞退した場合は、公開しない。

（個人情報保護）

第7条 寄付者に対する個人情報については、別に定める個人情報保護方針（プライバシーポリシー）に基づき、情報を管理するものとする。

（改廃）

第8条 この規程の改廃は、理事会の決議により行うものとする。

附則

この規程は、2023年11月1日から施行する。

この規程は、2025年3月25日から施行する。

（2024年11月16日理事会及び2025年3月25日理事会議決）

4. 会議報告

総会

開催日時：2024/5/23（木）15:00－17:00

会場：日本大学会館202号室 およびzoomによるハイブリッド

出席：18名（うち会場参加：9名、zoom参加：4名、委任状：5名）＋オブザーバー2名

議事および議決結果：理事・監事の選任、2023年度活動報告と2024年度活動計画等

理事会

第6回 開催日時：2024/4/26（金）16:00－17:00 会場：zoomによるオンライン会議

出席：5名（うち実参加(zoom)：4名、委任状：1名）＋事務局

議事：2023年度決算報告、監事報告、ウッドデッキ賞選考プロセスの確認等

第7回 開催日時：2024/5/23（木）15:00－15:30 会場：日本大学会館/zoomによるオンライン

出席：6名（うち実参加(会場)：4名、zoom：2名）＋事務局

議事：署名人の選定、代表理事の選任

第8回 開催日時：2024/11/16（土）12:00－12:50 会場：横浜市立大学金沢八景キャンパス

出席：5名（うち実参加(zoom)：4名、委任状：1名）＋事務局

議事：シンポジウム2023のその後、シンポジウム2024の確認、シンポジウム2025の企画、寄附金規程追記等

第9回 開催日時：2025/3/25（火）13:30-14:45 会場：zoomによるオンライン会議

出席：6名（うち実参加(zoom)：6名）＋事務局

議事：2024年度決算報告、監査報告、メール審議規程、2024年度ウッドデッキ賞選考等

シンポジウム企画準備会

オンライン準備会

第1回 開催日時：2024/8/1（木）10:00-11:00

第2回 開催日時：2024/8/8（木）19:30-21:00

第3回 開催日時：2024/8/17（土）13:00-15:00

第4回 開催日時：2024/8/31（土）13:00-15:00

第5回 開催日時：2024/9/15（日）8:00-9:30

第6回 開催日時：2024/9/30（月）15:00-17:00

第7回 開催日時：2024/10/23（水）17:00-19:00

第8回 開催日時：2024/11/1（金）10:00-12:00

出席：4-7名

内容：シンポジウムプログラムの検討・決定と会場・設営・進行について

前日準備会

開催日時：2024/11/15（金）18:30-20:30

会場：横浜萬珍樓點心舗 出席：12名

内容：シンポジウムプログラム内容と進行の確認

※詳細は10ページ

対話会オンライン準備会

第1回 開催日時：2024/3/29（金）14:00-15:00

第2回 開催日時：2024/8/8（木）19:30-21:00（シンポジウム準備会と合同）

第3回 開催日時：2024/8/31（土）13:00-15:00（シンポジウム準備会と合同）

第4回 開催日時：2024/10/28（月）11:00-12:00

第5回 開催日時：2024/11/8（金）15:30-16:30

出席：3-6名

内容：対話会プログラムの検討・決定と参加者募集について

5. 収支報告

(単位：円)

		第3期 (2024年度)		(参考) 第2期 (2023年度)	前年度増加 (FY24 - FY23年)
収益	寄付金		2,000,000	2,000,000	0
	利息		546	3	543
	雑収益		300,516	0	300,516
	合計		2,301,062	2,000,003	301,059
費用		(事業費)	(管理費)		0
	人件費	0	0	0	0
	業務委託費	1,139,077	0	1,139,077	424,077
	諸謝金	0	0	83,308	△ 83,308
	印刷製本費	69,069	40,037	109,106	△ 10,585
	会議費	82,700	36,300	119,000	△ 34,860
	旅費交通費	286,651	42,730	329,381	△ 106,229
	広告宣伝費	6,930	6,930	13,860	0
	接待交際費	315,190	0	93,416	221,774
	通信運搬費	0	44,590	22,110	22,480
	消耗品費	0	26,290	23,760	2,530
	支払手数料	5,720	1,550	5,555	1,715
	合計	1,905,337	198,427	2,103,764	437,594
当期収支			197,298	333,833	△ 136,535
前期繰越金			383,768	49,935	333,833
次期繰越正味財産額			581,066	383,768	197,298



特定非営利活動法人 ウッドデッキ
〒247-0008 横浜市栄区本郷台2-25-11
email: secretariat.wd@gmail.com

NPO ウッドデッキ

